

## 三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録

開催日：2022年1月19日（水）18:30～20:20

場 所：Zoom ミーティング

出席者：理 事：荒嶋、安藤、飯島、五十嵐、伊藤、小川、尾山、加藤、黒岩、小板橋、才藤、  
坂口、庄野、関根、高木、平松、三輪

監 事：石原、最川

顧 問：大谷、児玉

オブザーバー：鈴木、吉田

(敬称略)

尾山理事の進行により、Zoom ミーティングによる会議開始時点での参加人数（理事の出席 14 名）が定則数を満たしていることから理事会の成立が確認され、会長が議長となり、現在のコロナ禍は大変厳しい状況であるが、昨年 12 月に忘年会を開催して楽しいひと時を過ごすことが出来て良かった旨の挨拶があり、議事録作成に小板橋理事、議事録署名については関根理事を指名し、下記議案を審議した。

### <審議事項>

#### 1. コロナ禍の会員サービス「RYA シーサバイバルハンドブック」全会員へ配布

庄野会長から、児玉顧問に労をとって頂き「RYA シーサバイバルハンドブック」を 2 割引きで購入できることとなり、全会員への配布が可能となった。一方、会費の減額については事務処理等により現実的でないことが分かったことから、会員サービスとしてハンドブックの全会員への配布をお諮りする。なお、配布費用を含め総額は 627,000 円であり、2021 年度決算に含めることとする。

配布は出来るだけ早く計画するとともに理由についても伝える旨説明があり、承認された。

#### 2. 決算並びに監査結果

坂口事務局長から、2021 年度一般会計決算収支としてはマイナス 3,709 円、貸借対照表及び基金収支並びにみさきヨット会計報告と 2022 年度一般会計予算案としてマイナス 207,916 円となる旨説明があったが、2022 年度予算案のうちレース委員会の第 60 回小網代カップ運営補助については倍額の 100,000 円とする提案があり、予算案は承認された。

坂口事務局長から、2022 年度事業計画については各フリート等で確認していただき、修正等あれば知らせて欲しい旨説明があり、了承された。

最川監事より、1 月 14 日に開催した監査については 2021 年度決算書及び貸借対照表は適正に表示しているものと認められるとの報告があり、また石原監事からも同様な報告がなされた。

以上の決算及び予算並びに監査結果については承認された。

### 3. 総会開催要領・議案（対面・Web の別を含む）

庄野会長から、総会並びに総会前理事会は2月15日（火）の総会前理事会が18時30分から、総会は19時からとなるが、昨今のコロナ感染拡大からハイブリッド若しくはZoomでの開催を予定している。各委員からはコロナ禍状況を鑑みてZoomのみの開催が望ましいとの意見が述べられて、本年度総会はZoomでの開催で承認された。

議案については、総会の案内に合わせて、Zoomでの開催をお知らせすることで了承された。

### 4. アニオールズカップ協賛依頼

庄野会長から、3月12日・13日に三河三津マリナーでアニオールズカップが予定されており、例年通りの協賛依頼があり、支援を行うこととする旨説明があり、承認された。

### 5. 2022年理事会日程

庄野会長から、総会が2月15日（火）、理事会を3月15日（火）に既に計画しているが、その後についてはZoomでの開催を想定して5月10日、9月13日、11月8日のいずれも火曜日で計画することとで、承認された。

### 6. レース・イベント日程（ルール講習会含む）

飯島レース委員長から、MOSCの関係する三浦湘南レース、小網代フリートレース、小網代カップ、トランスサガミ及び石廊崎レース、若大将カップに委員会が関与している。併せて、外洋三崎とのショートハンドチャレンジも日程に組み入れることとなっているが、今現在ハッキリしていない。2月の湘南レースと小網代フリートレースについては、合体して実施することで準備している。2月にはジャッジの実地トレーニングも計画している。

三輪ルール委員長から、クルーザークラスのジャッジの資質底上げを目的として、2月20日の湘南レースで10名ほどでトレーニングを計画している。また、3月にはルール勉強会を対面で出来るのであれば開催したい。

本件については承認された。

### 7. その他

庄野会長から、基金の用途について、三崎ヨット無線局の機器更新に多大の費用がかかることから、基金からの運用可否等の検討を基金委員長に提案した。

小坂橋基金委員長からは、会員艇の航行安全を図るための助成活動に資することから、運用は可能と思われるが、基金運営委員会を開催して具体案を検討し総会にお諮りするつもりである旨説明された。

平松理事から、JSAFに通信委員会が立ち上がり通信分野を所管することになっているので、承知おき頂きたいとのご意見があった。

関根理事より、ORC の現状について、世界的に見て ORC が IRC に対して優位となっているが、JSAF が IRC と ORC の統一を図ったことで IRC 一本化が図られてしまい、ORC のノウハウが廃れてしまうことになる。このことを含めて良く認識して欲しいとの提案がなされた。  
児玉顧問から、主催者が楽しいレースを企画することが大切であるとの意見が述べられた。

#### < 報告事項 >

##### 1. 2022 年関東四団体レーススケジュール

飯島理事より、レーススケジュールはホームページに掲載しており、そちらを参照して頂きたいと報告がされた。

##### 2. 2021 年 KTS 結果・永年表彰

坂口事務局長から、KTS 結果並びに永年表彰については三崎外洋からの通達待ちであり、結果が受け取れてない状況である。結果が来次第、報告させて頂く旨報告された。

##### 3. JSAF コンプライアンス講習会

飯島理事から、15 日（土）にコンプライアンス講習会があり出席し、フェーズ 3 及びフェーズ 4 項目のオンライン講習を受講、MOSC はガバナンスコードに即した活動を行っていることが良く理解できた。また、2 月にフェーズ 5 の受講があり、これで終了する旨報告された。

尾山理事から公表の必要性が問われ、今まで通りに公表の準備はしておくが実施しない旨了解された。

##### 4. 外洋団体長会議

庄野会長から、1 月 29 日が全国加盟団体代表者会議、30 日が外洋団体長会議であり、未だ内容等がわかっていないが例年通りと理解している。終了したら皆様に報告する旨報告された。

##### 5. その他

平松理事から外洋常任委員会があり、トピックスとして今年ジャパンカップが開催の方向で決まってきており、9 月 17～19 日と 23～25 日の 2 回の連休を用いて逗子マリーナで開催される予定である。団体長会議の件で、2 年任期の理事選挙があり、選挙理事については MOSC は男子 2 票、女子 2 票合計 4 票があり、投票者の割り振りが行われている。また 2 月 5 日に外洋合同会議が Zoom であり、締め切りが 21 日なので忘れない様お願いする等旨報告された。

また、平松理事から、1 月 29 日の JSAF 代表者会議で大谷顧問が JSAF 定期表彰を受賞されることが報告された。

次回の理事会は 2 月 15 日（水）18 時 30 分から総会前理事会、19 時から総会で、原則 Zoom である旨伝達され、以上で本日の議事をすべて終了し、20 時 20 分に閉会した。

以 上

2022年 月 日

議事録署名人